

現場解決隊

～現場近隣とのお付き合い～



工事・米畑哲也

こんにちは。工事部の米畑です。私たち工事担当が、現場で大切にしていることのひとつが、近隣の皆さまとの関係づくりです。住宅の工事中は、工事車両の出入りや作業音などで、どうしても周囲にご不便をおかけすることがあります。そのため工事前のごあいさつはもちろん、現場でお会いした際にも声をかけ、気になる点がないか伺いするように心がけています。



先日、何度かごあいさつを交わした近隣の方からお家のことでちょっとした相談を受けたことがありました。工事が終われば私たちは現場を離れますが、そこで暮らし続けるのはお施主さまで。「ご入居の日を気持ちよく迎えていただき、その後何十年と近隣の皆さまと良好な関係が続いてほしい」だからこそ私たちは、工事中のご近所付き合いも「家づくりの一部」と考えています。

宮城の「素敵」を紹介

サイトースタジオ

塩釜市南錦町8-62
022-362-3577

皆さまにご紹介したい素敵写真館が、塩釜にある「サイトースタジオ」さんです。1940年創業の老舗スタジオで、現在は、3代目の吉木由美社長と4代目の長女・香織さんがフォトグラファーとして、七五三や成人式、結婚などの記念写真から各種証明写真まで幅広く対応しています。大手のチェーン店にはない女性ならではのきめ細かな対応とアットホームな雰囲気、地元はもちろん、遠方からのお客様も多い人気の写真館です。

由美社長は私の姉御的な存在で、公私ともにお世話になっており、我が家でも様々な節目の家族写真を撮っていただいています。毎年、【夏と子ども＋ファミリー写真展】を開催、38回目となる今年は、9月13日まで敷地内の第2スタジオで開催していますので、お時間のある方、是非お立ち寄りください。（大東住宅オーナーだとお伝え頂けると熱烈歓迎してくれること間違いなし！）



取材担当
：高橋一夫



編集後記

今年の仙台は、8月でも30℃超えが10日しかないという比較的涼しい夏でしたね。私は、お盆期間中に福島県国見近くの直売所で買った15個1,000円の桃が、今年一番の夏を満喫した出来事でした。いや～甘くて美味しかった。皆さんも「これを買おうならここ！」みたいな穴場お持ちですか？そういう大東オーナーさんの秘密情報共有サイトなんていうのも面白そうですね。桃については、こっそり場所教えますよ(笑)

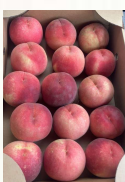
さて、11/15(日)開催の仙台リレーマラソンにオーナーさんと参加したい件、参加表明頂いた方現在数名です。10名になれば参加申し込みするのでもう一息です。9/15メ切なので、是非大至急ご連絡をお待ちしております。📞詳細は→のLINE配信サービスで告知致しますが、直接お声がけ頂いてもOKです。

今回で5号目の発行となり、何となく月末のバタバタ編集と入稿が恒例行事となりました。どんなネタにしたら興味を持ってもらえるか、どんな文章が読みやすいか、挿絵(写真)はどれを採用するか、手作り誌だからこその悩みもありますが、オーナーさんの家に行ってこの便利が置いてあるとやっぱり嬉しいものです。ということで私が行くときは是非付度して机に出しておいてください(笑)

感想も引き続きよろしくお願いします。桃の販売箇所のお問い合わせも(！)



編集長：加納



大東住宅 オーナーさま便り

今のお家をもっと好きになる社員手作りの情報誌



2026年9月号 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字三所南121-1
TEL 022-352-7477 info@daitojiyutaku.co.jp

高橋の徒然日記

～「実はハマっています！」朝6時からのサ活～

オーナーの皆様、こんにちは！代表の高橋です。今回は、私が5～6年ほど前からどっぷりハマっている「サ活(サウナ活動)」のお話です。

実は私、以前はサウナが大の苦手でした。「あんな灼熱の部屋で我慢した後に、キンキンの水風呂に入るなんて！ヒートショックが起きるんじゃないの？」と本気で思っていた一人だったのです(笑)。

ところが、気になることは徹底的に調べたくなる性格。サウナと身体のことを調べ、自分でも試すうちに、考えが180度ガラリと変わりました。今ではなんと、週に3～4回、出勤前の「朝6時から【サウナへGO】！」お気に入りのサウナハットをかぶり、サウナマットや健康グッズ、自家製ドリンクを抱えて、ノリノリで朝活ならぬ「サ活」に励んでいます。



サウナオタクが教える「安全な楽しみ方」です！

＜熱中症を防ぐ＞： 入る前後の水分補給を忘れずに、無理に我慢しない(体調不良や二日酔いの時は厳禁です！)

＜ヒートショックを防ぐ＞： 水風呂も冷水シャワーも、「足や手から徐々に冷やす」ことが大事です。急激に冷やさず心構えて段階を踏めば安心かと思います。

そして、「とととう」という言葉。これは「サウナ→水風呂→外気浴で深呼吸」を繰り返すことで自律神経がリセットされ、脳内からセロトニンなどのハッピーホルモンが分泌されることで、脳内のモヤモヤ感が一瞬で吹き飛ばような極上のスッキリ感が味わえることではないかと感じています。

サウナと弊社の家づくり、実は「とととう」という点ですごく通じるものがあります。現代社会はストレスが多く、交感神経(緊張モード)が優位になりがちです。キレイな空気と年中安定した温度・湿度で家中を保つこと

で、自然と心身が癒され、家に居ながらにして「とととう」室内環境を目指しているのが弊社の住まいです。

「サウナはやっぱ少し抵抗があるな・・・」という方は、まずはご自宅でじっくりお風呂に浸かり、仕上げに冷水シャワーをサッと浴びて、快適なお部屋で横になって深呼吸してみてください。それだけでも素晴らしいフレッシュになりますよ！

今月も、オーナーの皆様が笑顔で健康に過ごせますように！

代表取締役 高橋一夫



特製サウナドリンク



特製「マイサウナ水」のレシピ公開！
水＋レモン果汁(またはクエン酸、リンゴ酢)＋自然塩(ひとつまみ)
汗で失われるミネラルと塩分をしっかり補給でき、後味も爽快です
ぜひ試してみてくださいね！

築15年の新オーナーさまインタビュー ～新しいご縁～

今回お話を伺ったのは、築15年の「ソーラーサーキットの家」を“中古住宅として”昨年購入された利府町・I様ご夫妻です。前のオーナーさまから住み替えのために弊社へ売却のご相談をいただき、昨年I様ご夫妻との新しいご縁を繋ぐことができました。



インタビュー担当
千葉真弘

◆元々は中古住宅を探していたわけではなかったんです

「新築を建てたいと思いながら色々調べている中で、偶然インターネットでこの家に出会いました。最初に目を引いたのは、築15年という年月を感じさせない印象的な外観でした。」実際に見てみると、室内もとても綺麗に使われており、「本当に築15年なの？」と思うほどだったそうです。さらに小屋裏や床下も木の香りが残り、構造材の状態もしっかりしていたことから、「中古住宅でも、この家なら安心して暮らせそう」と感じたそうです。



◆15年間暮らした方の「生の声」が安心に

購入前には、前のオーナーさまから「実際の住み心地や周辺環境など」について直接お話を聞くことが出来ました。生の声を聞いたことも、購入を決める大きな安心材料になったそうです。そして、もう一つの安心材料が、「この家を建てた会社が、売却にも携わっていること」でした。家のことをわかっているのはもちろん、心配だった今後必要なアフターメンテナンスも、中古住宅を購入するI様ご夫妻にとって安心感につながったといいます。

◆これからは私たちがこの家を守る番

実際に暮らし始めてからも、室内の温熱環境や居心地の良さなど、ソーラーサーキットの家ならではの住み心地を実感されているI様ご夫妻。お話の中で、とても印象に残った言葉がありました。「前オーナー様が大切にしていたものを、今度は私たちが大切にしていきたいと思っています。」

新築した時がお住まいの「完成」ではありません。そこでご家族が暮らし、思い出を重ね、そしていつか暮らし方が変わった時には、次のご家族へと住まいが受け継がれていく。今回のご縁を通して、私たちも改めて「長く住み続けられる家をつくること」の意味を感じることができました。



◆住み始めてから、これまで

I様からは、「中古住宅なので正直『購入したらそこで終わり』だと思っていました。でも実際には入居後も相談やメンテナンスなど、大東さんスタッフとの付き合いが続いていることがすごく嬉しい！」という嬉しいお話も

いただきました。

弊社の方こそ、今回のインタビューへのご協力、弊社主催のリフォームイベントやお祭りにも来てくださってとても嬉しいんです！また、社員手づくりの椅子もプレゼントさせていただき、今では仕事や資格の勉強をする際に愛用しているそうです。「気に入ってもらえてるんですね ✨ 不具合あればすぐ直しに行きます！」と作成者が言っています！



(※お顔写真掲載許可、頂いております)

岩切本社活動紹介 ～毎日の水やりは大変ですが～

数年前に、本社を岩切に移転して以来、打ち合わせ等にお客様がいらっしゃることもあり、ガーデニングの趣味を活かし、数名の社員と一緒に植栽を植え替えたり、交代で水やりをしたりしています。

ただガーデニングが好きとは言え、枯らしては植え替えるという失敗をこっそりやっていて、試行錯誤の日々です。元々土ではなく砂地の場所なので、養分が足りないのかな？と感じています。難しいですね(笑)

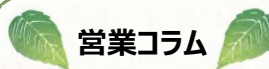
また、ここ数年新たな魅力を感じている一つが「カラーリーフ」です。カラーリーフとは、花だけではなく葉の色や質感を楽しむ草木のことで、一年中楽しめるのが魅力です。本社庭で数年間試して、だいぶ育て方もわかってきた感じがしています。

花とは違って目立つものではありませんが、もし本社にお立ち寄りの際は、玄関横にあるお庭にも是非目を向けてみてください。カラーリーフの美しい葉色が皆さまの心を和ませるひとときになれば、と思います。

ちなみに、ドライフラワー（社内や展示場の季節の飾り物）や多肉植物も趣味として作っていますので、またの機会にご紹介しますね！



設計
伊豆田直子

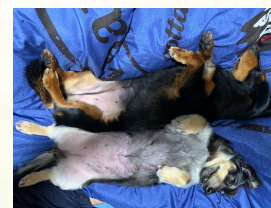


営業コラム

里親として愛犬に認められた瞬間！

自分というも何ですが、社内では「犬好きと言えば文屋」でおなじみの文屋です。我が家は3匹のダックスフンドと一緒に生活しています。

実はこの仔たちは保護犬で、私たち夫婦は里親です。元々は里親という選択肢を考えていなかったのですが、「保護犬」という存在を偶然知り、妻に相談したところ「私たちが少しでも力になれるならそうしたい」と意見が一致しました。その後、岩手県内で個人で保護犬活動をされている方と出会い、里親として迎え入れる環境（自宅）も確認された上で「この家であれば大丈夫！」という流れで大切な保護犬を引き取る事になりました。



妻が子供のころにダックスフンドを飼育していたこともあり、育て方はわかっていましたものの、「繁殖用」として育てられてきた（というか閉じ込められていた）犬には、人間に対し疑いの目を向けられているような感覚を覚えました。ただ時間はかかっても、「ヒト」の優しさを知って欲しくて夫婦共に一生懸命、負担をかけないように愛情を注ぎました。「このヒト達は大丈夫」と思ってもらえたのか、気が付けばおしりをくっつけてくれたり、お腹を見せてくれたりするようになりました。心を許してくれたんですね！

人と同じように犬にも快適な温度があります。全身毛で覆われた犬にとっては少し人が肌寒いと思うくらいが快適な温度と獣医師さんからアドバイスされたので、常に犬に合わせた温度設定の生活をしています。犬にとっても、もちろん自分たちにとっても快適な外断熱の家で良かった～と心から思います。

保護犬に興味がある方、犬との生活を楽しくでらっしゃるオーナーさまとは是非「うちの仔自慢」をし合いたいですね♪



営業
文屋敏春